

(別紙)「宝塚市水道ビジョン2035(案)及び宝塚市水道事業経営戦略(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

※ ご意見ありがとうございます。

・意見の募集期間 令和8年(2026年)1月5日(月)～ 2月4日(水)

・提出意見総件数 10件

○宝塚市水道ビジョン2035(案)について

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1		-	-	<p>埼玉県での陥没事故を鑑みても老朽化に対応するのは早急の課題かと思われます。思いますのは、水道料金を値上げするのが1番だと考えております。しかし、宝塚市全体の魅力と捉えるのか、水道事業の安全な継続的運用の両立はすごく難しいかと思われます。</p> <p>昨今の経済状況を鑑みても水道料金を上げるのが賢明かと思われます。</p> <p>市内で飲食店を営んでおりますが、蛇口をひねって安全な水が出るのが1番だと思われます。少し料金が高くていいかなと思っております。</p>	<p>【原案のとおりといたします】</p> <p>浄水場やその他水道施設については定期的に補修点検等を行い、皆さまの生活に影響が及ばないように、水道水の安定供給に努めています。今後も市民の皆さまへの安全・安心な水道水の提供を持続可能とするためには、物価変動などを踏まえた適切な水道料金の設定が必要と考えます。水道料金の改定については市民の皆さまからご理解をいただけるようわかりやすい情報発信を行ってまいります。このたびは、ご意見ありがとうございました。</p>	修正なし
2	計画全般に関する	-	-	<p>宝塚市の人口は2015年頃をピークに緩やかな減少傾向にあり、2024年4月1日時点で推計人口約22.1万人です。少子高齢化が進行し、高齢者人口が増加する一方、生産年齢人口が減少しています。今後は2050年に約19.7万人まで減少すると予測されています。若者に優しく、魅力ある街づくりを行って、住んでもらうことが重要です。主に西日本の上下水道施設の計測器メンテナンスに30年以上携わり、多くの自治体のそれら施設の整備状況と街の施設や人々の生活様式などと関連付けて見るにつけて、若者が暮らしやすい街は活気があり、上下水施設の整備は完璧に近いと感じています。</p> <p>高齢者を支えるのは若者であり、若者を減少させてはならないと感じます。</p>	<p>【原案のとおりといたします】</p> <p>若者の定住促進は、上下水道のみならず本市全体の課題であると認識しています。また、社会的インフラの向上が快適な市民生活には不可欠であると認識しており、ICTやAIなどの新技術を活用して水道施設の維持管理や耐震化を進めます。また浄水場では、停電等が発生した場合でも水道水を供給できるように、2回線受電等の対策を講じるなど、今後も、安心して住んでいただけるよう取り組んでまいります。このたびは、ご意見ありがとうございました。</p>	修正なし
3	こと	-	-	<p>水道は、人の生死に関わる事と思います。</p> <p>災害時はもちろん、日常であっても。</p> <p>飲み水がなければ、やはり命に関わる事です。</p> <p>予算を使っても、耐震、迂回路、配管の交換など、地域に適した(1万世帯地域と100世帯地域を工事内容は同じで、工事順なども公平で例えば配管の大きさなどを変える)対策をしてもらえればと思います。</p>	<p>【原案のとおりといたします】</p> <p>本ビジョンで示すとおり、水道施設や管路の老朽化が進む一方で、耐震化や更新には多額のコストが必要となります。</p> <p>令和6年能登半島地震では、浄水場やその施設に直結した管路など、機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設(急所施設)が被災しました。本市においても、この教訓を受け、用水供給事業者の受水点から救急告示病院等へ向かうルートと各ご家庭へ配る水を貯める施設(配水池)までの送水管の耐震化に取り組み、市民の生命の危機に直結する事態の最小化を進めてまいります。また安定して水道水の供給ができるように、定期的に浄水場の施設補修点検等を実施しており、今後も皆さまが安心していただけるよう取り組んでまいります。このたびは、ご意見ありがとうございました。</p>	修正なし

(別紙)「宝塚市水道ビジョン2035(案)及び宝塚市水道事業経営戦略(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

※ ご意見ありがとうございます。

・意見の募集期間 令和8年(2026年)1月5日(月)～ 2月4日(水)

・提出意見総件数 10件

○宝塚市水道ビジョン2035(案)について

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
4	計画全般に関すること	-	-	<p>今、南海トラフ大地震がいつ起きてもおかしくないという予測が出ています。宝塚市においても、震度5強の予想になっています。私は阪神淡路大震災を経験して、水道の大切さがよく分かりました。地震時にはすぐに断水が起こり、蛇口から一滴も水がでなくなり、それが何週間も続きました。水道の修理を行っている工事業者の方が朝早くから夜遅くまで作業をされていたのを覚えています。水のありがたさをすごく感じました。上下水道局は、大災害に備え平時からの備えとして令和7年4月に「上下水道BCP」を策定されており、その中で応急復旧の実施について記されています。上下水道BCPの内で応援業者の体制として12社が記載されています。実際の大災害の発生時において近隣の市外業者からの応援は期待できないでしょうから、ほぼこの業者に水道管路の早期修繕・復旧工事の協力を要請されることになるのでしょうか。しかし、ニュースや新聞では、工事に携わる業者も、近年高齢化が進み作業員が減少していることやそれぞれが店舗が廃業に追いやられていることが報じられています。上記12社に大災害時に市内一円の早期修繕・復旧工事を任せられるだけの作業員さんは確保されているのですか。その人員と技術力の維持という工事業者の問題について上下水道局はどのような対策を取られているのかお聞かせください。また、震災当時に住宅内の修理を頼んだところ、順番だということで何日も待たされました。それから、復旧が進んで行くと高額な修理代を請求する修理業者が出てきて、これもニュースや新聞に取り上げられ、問題になったことを覚えています。このような緊急時において、市民が安心して頼める市内の修理業者をわかりやすく紹介していただけるようなことを考えていただきたいと思います。</p>	<p>【原案のとおりといたします】</p> <p>宝塚市上下水道事業業務継続計画(以下、BCPとする)では、通年で契約している緊急漏水修繕契約業者を応援業者の体制として記載しております。発災直後は、この契約業者による調査や応急復旧を初動として計画していますが、協定を結んでいる民間企業等の水道工事業協同組合や市内の建設業協会とも連携し、復旧工事を進めていきたいと考えています。また、市内での上下水道管の更新工事を継続的に行うことで、市内に在住する工事関係者の減少を防ぎたいと考えています。</p> <p>一方で、令和6年能登半島地震では、被害の規模に比べ、宅内配管を修理する業者数が少なかったことに加え、業者自身も被災したことで、修理や工事を行える業者が不足し復旧が遅れることとなりました。</p> <p>このことを踏まえ、他市町の指定業者でも修理や工事ができるようルールを変更する手続きを進めています。なお業者情報については、近隣各市等とも連携し、市民の皆さまにわかりやすくお届けできるよう努めてまいります。このたびは、ご意見ありがとうございました。</p>	修正なし

(別紙) 「宝塚市水道ビジョン2035(案)及び宝塚市水道事業経営戦略(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

※ ご意見ありがとうございます。

・意見の募集期間 令和8年(2026年)1月5日(月)～ 2月4日(水)

・提出意見総件数 10件

○宝塚市水道ビジョン2035(案)について

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
5		28 29 33	-	<p>(P28,P29,P33のPFASに関する事項)</p> <p>・意見主旨：宝塚市は「安全な水道水の供給」を使命としているのであるから、「水道ビジョン2035」には、小浜浄水場における高濃度PFAS井戸水揚水を速やかに取り止め、他系統の水の供給に切り替えることを明記すべきである。</p> <p>・意見理由：</p> <p>(1) 小浜浄水場における、50ng/l以上と想定される高濃度PFAS井戸水を他系統の水道水で希釈するのは弥縫策(又は本末転倒)であって、そもそもの根本問題である高濃度PFAS井戸水を汲み続けること自体を止めなければ「安全な水道水の供給」につながらない。</p> <p>(2) 小浜浄水場系水のPFOS/PFOA濃度のみが直近「30ng/l(2025年6月30日)」となっているが、これは他系統の配水の「5ng/l未満」の6倍超と明らかに異常な数値であり、それを放置することは行政の怠慢に過ぎない。</p> <p>(3) しかも、小浜浄水場系水の配水地域(以下、「当該配水地域」という)は従前から固定されたままであり、当該配水地域の住民は、(i)安全な水の提供を受ける他地域と同一の水道料金を賦課されているにも拘わらず、(ii)健康被害を受ける可能性により高く、永続的にさらされており、(iii)あまつさえ、水道水を自助で“より安全”化するためには家庭用の浄水器・濾過装置の設置等に出費を余儀なくされるなど、全く不公平な状況に置かれている。</p> <p>(4) より深刻な問題は、当該配水地域における乳幼児、児童が今後何年、何十年にわたって小浜浄水場系水を飲み続けなければならないとすれば、PFAS蓄積による乳幼児、児童への健康被害の懸念は大きいと思われることである。</p> <p>以上の理由から、小浜浄水場における高濃度PFAS井戸水揚水を速やかに取り止め、他系統の水の供給に切り替えることを宝塚市行政の方針とすることを要請します。</p>	<p>【原案のとおりといたします】</p> <p>ご意見いただいたPFASが検出されている井戸水の揚水を速やかに取り止め、他系統に切り替えることについては、安定的な水道水の供給に支障をきたすため、計画案のとおりとします。</p> <p>昨今のPFASに関する報道等により、水道水のPFASに関してご不安を感じておられることと存じます。</p> <p>本市は、本年4月から水質基準項目となるPFOS、PFOAを含め、水質基準値を遵守した安全な水道水を今後も市民の皆さまにお送りしたいと考えています。</p> <p>本市では、これまで、PFOS、PFOAが検出されている井戸のうち、最も濃度の高い井戸2本の取水を停止する低減対策を実施し、水質基準値を確実に遵守できるよう取り組んでまいりました。しかし、これら2物質の水質基準値を遵守するだけではご不安を感じる方がおられることから、継続して低減対策を進めることを市民の皆さまにお伝えするため、本ビジョン内に、この2物質を国の基準値の5割(25ng/L)以下に低減することを明記致しました。小浜浄水場のさらなる地下水源の停止は、安定的な水道水の供給に支障をきたします。そのため、水道水の安全性との関係を十分に考慮した上で、今後の浄水場の存続や配水ルート等の検討を行い、PFASに関する新たな技術革新にも注視しながら、低減対策を進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、乳幼児、児童への健康影響については、PFOS、PFOAの水質基準値は内閣府食品安全委員会が示したTDI(耐容一日摂取量)を元に算出されており、TDIは子どもや高齢者などの人の個体差の影響も考慮して設定されていることから、水質基準値の遵守により影響は生じないと考えています。</p> <p>今後も多くの市民の皆さまのご意見をお聴きし、安定した水源の確保について議論を進めてまいります。このたびは、ご意見ありがとうございました。</p>	修正なし

(別紙) 「宝塚市水道ビジョン2035 (案) 及び宝塚市水道事業経営戦略 (案)」 に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

※ ご意見ありがとうございます。

・意見の募集期間 令和8年(2026年)1月5日(月)～ 2月4日(水)

・提出意見総件数 10件

○宝塚市水道ビジョン2035 (案) について

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
6		40	9	40ページ下から4行目「浄水場2か所の存廃・・・」について 自前の水源が無くなるのは危ないと思います。用水供給事業者(阪神水道・県営水道)から法外な料金を請求されたらどうしようもありません。	【原案のとおりといたします】 本市の水道水は、自己水浄水場2か所(惣川、小浜浄水場)及び用水供給事業者2か所(阪神水道、兵庫県営水道)の4種類の水道水を市内全域に供給しています。複数の水源を保有することは、渇水や災害時などの非常時には強いという利点があります。今回の計画では、浄水場の存廃を含めた水源の在り方について、このビジョン期間内に、浄水場更新時のコストや安定供給及び災害時の対応など、様々な側面からの検討を行ってまいります。また用水供給事業者からの受水費については、今後も本市だけでなく、多くの構成市とともに厳しい目で動向を注視してまいります。このたびは、ご意見ありがとうございました。	修正なし

(別紙)「宝塚市水道ビジョン2035(案)及び宝塚市水道事業経営戦略(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

※ ご意見ありがとうございます。

- ・意見の募集期間 令和8年(2026年)1月5日(月)～ 2月4日(水)
- ・提出意見総件数 10件

○宝塚市水道事業経営戦略(案)について

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1		47	-	47ページ欄外の※平均的な世帯・・・について 利用者は下水道料金と合わせて支払うので合算でいくらになるのかも併記してほしい。	【計画案を修正いたします】 上下水道料金については、同時に市民の皆さまへ請求させていただいておりますので、上下水道料金がどれくらいになるのかわかりやすく併記させていただきます。このたびは、ご意見ありがとうございました。	水道事業経営戦略 p 4 7 及び下水道事業経営戦略 p 4 8の参考において、それぞれの戦略で示した改定金額を併記する。
2	計画全般に関すること	-	-	やはり昨今の経済状況を鑑みても、水道料金の値上げは致し方ないと思われま す いか に市民の皆さまに納得していただくのが課題かと思われま すが、市民の値上げに対する反応は大丈夫だと思います。	【原案のとおりといたします】 今後の取組にあたり水道料金の値上げに対して市民の皆さまからご理解をいただけるようわかりやすい情報の発信に努めてまいります。また物価変動などを踏まえた水道料金の改定に対して時期・改定率なども含めて宝塚市上下水道事業審議会で審議をいただき、審議状況等広報誌や市ホームページなどを活用して説明を行います。このたびは、ご意見ありがとうございました。	修正なし
3	計画全般に関すること	-	-	末広公園についてですが、端的に芝生で覆うのではなく、一部西日本最大級のコンクリートスケートパーク作りませんか? スケートボード、インラインスケート、フリーボード、マウンテンボード、フリースケートなどをする若者が集い、住む街に移行することで、親や高齢者も含めて税収を上げて行くことが水道事業の経営に大きく寄与すると思えます。	【原案のとおりといたします】 上下水道局にとっても、まちの活性化により市民が増えることは経営に大きな効果があると考えますので、いただきましたご意見を市の担当部局にも情報共有させていただきます。このたびは、ご意見ありがとうございました。	修正なし

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
4	計画全般に関する事	-	-	<p>宝塚市水道ビジョン2035（案）においても経営戦略（案）においても、結論は「2033年に資金が枯渇して事業の継続が困難となる見通しである」ことが強調されています。人件費の向上や原燃料費の向上は上水道事業の経営を大きく圧迫していることは明らかですが、これを知恵で乗り切ることができないのかと考えました。最終的に水道事業の料金の値上げもあるかとは思いますが、その前に市民に対して現状の理解をしてもらうことが大切であると感じました。宝塚市に隣接した各自治体の事業収益の状況を比較すると以下のようなことがわかります。</p> <p>1. 宝塚市のように都市部（比較的中規模）と農村部が多い自治体では、上水道事業の経営はあまりよくありません。例えば、宝塚市や川西市などがそうした例になると思います。しかし、都市部の上水道事業の経営は比較的良好であった結果が得られています。特に大都市部である西宮市は黒字決算となり、また伊丹市でも黒字でした。こうした事業の流れは今後も続くものと思われます。したがって、都市部を有する自治体と、中規模の都市部と農村部を持つ自治体では今後も経営の格差が大きくなるのが危惧されます。</p> <p>2. 多くの自治体では水道事業に対しては、日頃から市民への情報開示が重要と考えられます。しかしながら、事業案が出てきたタイミングでしか細かい情報はオープンになりません。私は上下水道モニターをしてきたために、どのような内容で市民に上水道が配管されているのかを理解することができましたが、大部分の市民に対しては全く情報が伝わっていません。宝塚市では特に、ダムの水や地下水の提供あるいは広域的な水道水の購入など地域によってその給水形態が大きく異なり、費用やコストも変化していることが理解できていません。このような情報の積極的な開示が今後の水道水の値上げなどに対しても極めて重要です。</p> <p>そこで、以下のように今後の改善案を提案します。決して十分な検討は得ていないのですが、一度関係者で議論していただければ幸いです。</p> <p>（次ページへ続く）</p>	<p>【原案のとおりといたします】</p> <p>ご意見いただいた積極的な情報開示については、市ホームページの充実やSNSの活用推進などにより市民の皆さまへ伝わる広報を実施するため、計画案のとおりとします。具体的にはこれまで水道事業を取り巻く環境を市民の皆さまが分かりやすく理解できるようなホームページ構成になっておりませんでした。そのため、市ホームページリニューアルに合わせて見直しを行っているところです。市域全体に4つの水源から供給していることや本市水道事業の特徴、またコストの構造や経営状況も含めわかりやすい情報開示を行ってまいります。</p> <p>またご提案いただきました経費を抑える方法として薬品、部材の共同一括購入については、各自治体で独自の規格や様式を採用しており、すぐには共同で行うことは難しいですが、一部の水質検査を近隣自治体間で共同で行うことなど少しずつですが実施しております。今後は近隣自治体との協議をすすめ、共同一括購入など経費の削減につながる取組を行ってまいります。また複数自治体で共通に競争入札することについては、市内に在住する工事関係者の減少を防ぎたいと考えているため本市独自で競争入札を行いたいと考えています。</p> <p>損益の構造改革については、本市含め人口減少による給水収益の減少など単独での経営が厳しくなることが予想されますので、近隣自治体や用水供給事業者構成市と広域連携に関する協議を行ってまいります。今後も持続可能な水道事業のため、様々な取組を進めてまいります。このたびは、ご意見ありがとうございました。</p>	修正なし

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
4	計画全般に関すること	-	-	<p>1. 市民への情報開示の方法の改善：現在の宝塚市のホームページの「水道・下水道」のWebを見ると以下のような4つの項目があります。</p> <p>「水道を使用したい・止めたい」、「故障・トラブル」、「水道料金」、「メータの取り換え」しかし、このような情報では市民は宝塚市の上水道の状況を全く理解することができません。宝塚市の上下水道モニターで関係者に配られたパンフレットの情報を視覚的にWebに掲載して、市民に分かり易く提示していくことが重要であると思います。特に、川下川ダムからの給水、地下水の提供、そして広域水道水の購入や上水道事業での経費の状況も分かり易く説明していくことが必要だと思います。万一、水道料金の値上げを行う場合でもなぜそのようなかを理解できるようにすべきです。事業案が出てきたから意見を…だけでは市民は理解しません。平素から正しい情報を与えるべきでしょう。</p> <p>2. 営業収益において、経費として損益に影響するのが人件費、薬品などの部材費、あるいは工事費などであると思います。宝塚市のようにダムの水の浄水、地下水、水道水の購入など複数を行うことで、浄水場や送水場などの施設が複数必要となります。ただし、薬品や部材は、おそらく近隣自治体間ではほとんど同じ（あるいは同じ）であると考えられます。そのためにこのような共通の部材は複数の自治体で一括購入することが可能であると思われます。このような共同での一括購入で購入量を増やし、共通費用や営業費用のコストを削減して、経費を節約できるのではと考えます。また、工事費に対しても、複数の自治体で共通に競争入札することによって共通費用の削減などで経費を抑えることが可能ではないでしょうか。</p> <p>3. 損益の構造改革：今後ますます都市部よりも農村部の割合が多い地域で経営が難しくなることが想定されます。すなわち、宝塚市、三田市、川西市は伊丹市や西宮市よりもより経営が難しくなることが予測されます。西宮市も名塩に飛び地もあり現在では非効率な経営をしなければなりません。そこで、自治体の広域連合を作ることを提案します。お互いの長所や短所を補いながら平均的な経営をできるように協力して行くことが期待できます。ぜひ、ご検討ください。</p>		